

Panasonic Exhibition Milano Fuorisalone 2018

TRANSITIONS by Panasonic Design

会期：2018年4月17日（火）～22日（日） 各日 11:00～21:00

会場：イタリア国立ブレラ絵画館（Pinacoteca di Brera：Via Brera 28 20121, Milano, Italy）

プレスレビュー：2017年4月16日（月）16:30～17:30 ※プレスカンファレンス 実施



パナソニック株式会社（以下、パナソニック）は、2018年4月17日（火）から22日（日）、イタリア・ミラノで開催される「ミラノサローネ 2018」に出展します。

パナソニックは1918年の創業以来、事業を通じて世界中の人々の「暮らし」の向上と社会の発展に貢献することを基本理念とし、日々の事業に取り組んできました。常に「人」を中心に置き、その「暮らし」をみつめ、より良いものにしていく—それが今も昔も変わらないパナソニックの原点です。

パナソニックは、この2018年に、「創業100周年」を迎えました。これからの100年も、絶えず変革にチャレンジすることで、家の中から、オフィス、店舗、自動車、航空機、さらに街まで、お客様が活動する様々な空間において、ハードウェア単品だけでなく、ソフト、サービスを含めたトータルソリューションを提供し、お客様一人ひとりにとってのより良い暮らし、より良い世界～「A Better Life, A Better World」を追求していきます。

そうした変革を目指すパナソニックの、今回のミラノ・サローネでの出展テーマは、「TRANSITIONS by Panasonic Design」。

この「TRANSITIONS」という言葉は、かねてから当社が強みとする先進のエレクトロニクスと日本の感性に加え、絶えず変化する社会環境に合わせて柔軟に姿を変え、既存の枠に囚われない発想からさまざまな活動を実践し、デザインによる新たな強みを生み出すというパナソニックデザインの変革の姿勢を込めています。

また、100年にわたって「もの」のデザインをし続けてきたパナソニックが、次の100年に向けて、目に見えないものや手に触れられないもの、人の気持ちや体験までもデザインしていくという、これまでになかったアプローチの実践も表現しています。メイン展示として、幅広い商品カテゴリーを有する当社ならではの、空調・映像・音響・照明技術を掛け合わせた総合インスタレーション「Air Inventions」を展示。また、本年は新たな取り組みとして、対話型コミュニケーションの重要性に着目し、グローバルで活躍する有識者をお招きしたトークイベント「TRANSITIONS in Conversations」を開催します。

今回の出展について、パナソニック株式会社 アプライアンス社 デザインセンター所長の白井重雄は、以下のように述べています。

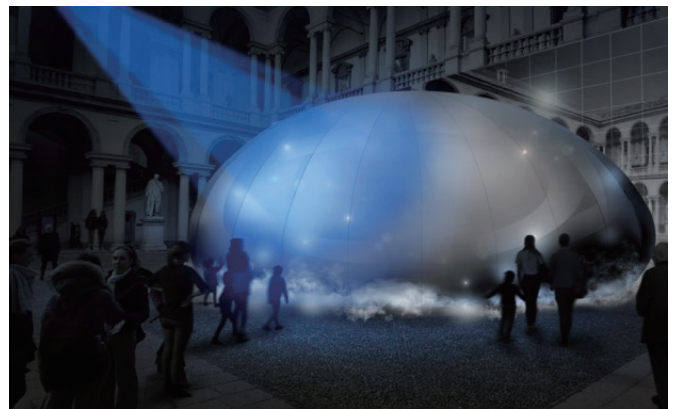
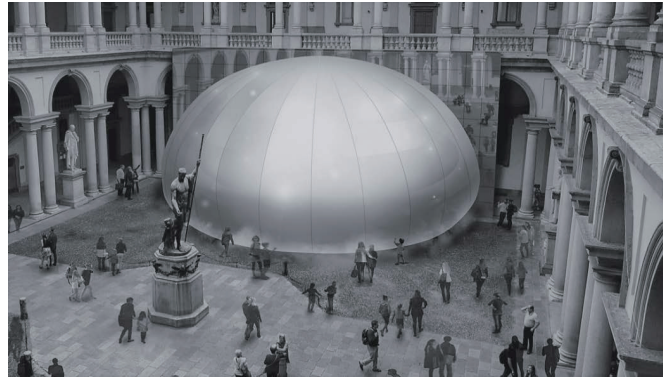
「多様な価値が混在する時代において、デザインの役割も大きく変化しています。今回のサローネでは、目に見えない体験価値さえもデザインしていくという強い意志を込め、『空気の発明 (Air Inventions)』をコンセプトに、思わず深呼吸したくなるような空間をミラノの中心地に創ります。パナソニックデザインは、2018年4月からグローバル屈指の文化都市である京都にデザインのヘッドクォーターを構えて、新たな組織で活動を始動させ、「TRANSITIONS」を加速していきます」。

Installation

「Air Inventions」

会場となるブレラ絵画館の中庭に、水滴をモチーフとした直径 20 メートルのエアドームを設置。パナソニックの独自技術である、空気を浄化するデバイス技術「ナノイー X」と、高圧の圧縮空気を用いて水を微細化する「シルキーファインミスト」を組み合わせ、「ミラノの街中で、最も美しく澄んだ空間」の創出を目指しました。

ドーム内部には、超高輝度レーザー光源プロジェクター「PT-RQ32KJ [輝度(センター): 27,000 ルーメン]」と、高性能・高解像度魚眼レンズ「ET-D3LEF70」を配置。ドーム内部に臨場感あふれる 4K プロジェクションマッピングを描き出します。本展示で、1918 年の創業以来「モノ」をデザインし続けてきたパナソニックが、次の 100 年に向けて「目に見えないものや手に触れられないもの」、つまり、「人の気持ちや体験までもデザインしよう」という、パナソニックデザインの“TRANSITIONS”への挑戦の姿勢を表現します。



Talk Event

「TRANSITIONS in Conversations」

4月18日(水)、19日(木)、20日(金)の3日間(いずれも16時~17時)、ブレラ絵画館の「受難の間」を会場として、「Living Space」「Community」「Culture」の3テーマで、これからの豊かなくらしに、デザインの果たす役割がどう変化していくのかを、グローバルに多方面で活躍する有識者とパナソニックのデザイナーが語り合います。

*事前予約制: 4月2日から『ミラノサローネ 2018』特設サイトにて受付開始予定



4/18 (Wed) 16:00-17:00 #TRANSITIONS in Living Space

デジタル革命により、私たちの住環境もまた大きく変化しています。デジタルライフが自然と生活に溶け込む中で、家電の家具化、家具の家電化など各業界の境界がどんどんなくなっていく一方、今後自動運転の発展に伴いモビリティ空間でさえも住空間と捉えることができます。またこれらの住空間の変化と合わせて世界的に高齢化社会が進む中、人々の健康ウェルネス需要のために、これからの住空間はどうあるべきでしょうか？

4/19 (Thu) 16:00-17:00 #TRANSITIONS in Culture

AI、ロボティクス、IoTなど昨今の先端技術のめまぐるしい進歩により、文明はかつてないスピードで発展し、それにより人々の生活は益々効率化しています。一方でデジタル革命により「生活の効率化」が急速に進む反面、文化によって醸成される「生活の豊かさ」が追いついていないのも事実です。これらのデジタル文明の進化に対応して、私たちの生活文化はどのように進化すべきか？文明から文化へ。人々が豊かに感じるこれからの生活文化の創造のために、アート・デザインに何かできるか？

4/20 (Fri) 16:00-17:00 #TRANSITIONS in Community

ソーシャルメディアの高度化とデジタル技術進歩の進展は、新たな「オンラインのコミュニティ」を生み出し、仕事と家庭、私たちの高適および私的生活の境界を曖昧にしています。またシェアハウス、シェアオフィスの登場で既存の枠組みに収まらない「オフラインのコミュニティ」も形成されはじめています。場所、職種などの属性を越えて、既存のエコシステムでは交わることのなかった多様な人々とのコミュニティ形成ができるようになったこれからの時代の新しいコミュニティ形成はどうあるべきでしょうか？

Venue

会場は、昨年につづき、ミラノ中心部ブレラ地区に位置し、17世紀に建てられた歴史的建築物でもあるイタリア国立ブレラ絵画館。メインエントランスを入ってすぐの中庭にてインスタレーション展示を行い、中庭を囲む部屋の一つ、「受難の間 (Honor Courtyard)」にて、トークイベントを開催いたします。

会場：イタリア国立ブレラ絵画館 / Pinacoteca di Brera

住所：Via Brera, 28, 20121, Milan, Italy

① インスタレーション「Air Inventions」

会場：中庭 (Honor Courtyard)

② トークイベント「TRANSITIONS in Conversations」

会場：受難の間 (Passion Room)



Event Outline

□タイトル： TRANSITIONS by Panasonic Design

□会期： 2018年4月17日(火)～22日(日)

□時間： 11:00～21:00

□会場： イタリア国立ブレラ絵画館
(Pinacoteca di Brera : Via Brera 28 20121, Milano, Italy)

□プレスプレビュー：2017年4月16日(月) 16:30～17:30 ※プレスカンファレンス実施

▼『ミラノサローネ 2018』特設サイト (2018年3月下旬より随時アップデート予定)

日本語：<http://panasonic.co.jp/design/milan-design-week2018>

英語：<http://panasonic.net/design/milan-design-week2018>

▼ Press Kits | Milano Salone 2018 (2018年4月16日以降、随時アップデート予定)

<http://news.panasonic.com/global/presskits/milanosalone2018>

以下ソーシャルネットワークサービスにおいても現地の様子を発信します。

(ハッシュタグ：# PanasonicDesign)

▼ Panasonic Design 公式 Instagram (panasonic_design)

https://www.instagram.com/panasonic_design

▼ Panasonic Design 公式 Twitter (@DesignPanasonic)

<https://mobile.twitter.com/DesignPanasonic>

Press Contact

パナソニック株式会社

ブランドコミュニケーション本部 Wonder 推進室 植西 03-3574-5670

アプライアンス社 広報部 松山 06-6905-5350

PR Support

デイリープレス 川村 美帆

03-6416-3201 mihokawamura@dailypress.org